

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	8	2		・車いすやバギー、歩行器など必要なものが多く、放課後は特に狭いと感じることもあります。その時使用しないものに関しては、適時活動室外に出すなどし、対応しています。
	2	職員の配置数は適切であるか	7	3		・送迎時には、人員の不足を感じる事もあります。送迎員の採用等も含め検討しています。 ・特性や通所メンバーにより、職員配置数を変えています。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	10			・トイレの手すりなど、調整可能なものを取り付けています。廊下の手すりは、歩行練習時活用しています。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10			
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	10			
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	10			・ホームページにて公開しているだけでなく、紙ベースでも全員に配布しています。また、事業所内への掲示も行っています。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			10	
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10			・法人研修、クラージュでの研修など学ぶ機会を多く設けています。外部研修に関しても、可能な限り参加できるように配慮しています。
適切な 支援の 提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	10			
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	8	2		・施設独自のアセスメントツールでの情報収集となっています。発達検査等の結果については、適時クラージュにも共有していただきます。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	10			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	10			
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	8	2		・長期休暇を含む休日は大変込み合うため、難しいと感じることもあります。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	9	1		・ミーティング等にて集団、個別 どちらかに偏らないよう職員間で話し合い作成しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	10			・朝のミーティング時には、前回の様子や計画書内容などを確認し、情報共有をしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
適切な支援の提供	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	8	2		・シフトにより出退勤時間が異なるため、帰りに全員が集まる事は難しい現状です。その場にいる職員で共有したり、業務日誌に記録することで、周知を図っています。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	10			・PCでのケース記録、手書きでの業務日誌を基に支援の再検討などを行っています。
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	10			
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	10			
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	10			・可能な限り、児童担当者と児童発達管理責任者2名で参加できるようにしています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	10			
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	8	2		・適時連絡が可能です。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	10			・担当者会議等を用い、情報共有を行っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	10			・移行支援会議に誘っていただくようお願いしています。また申し送り書を作成し、お渡ししています。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	3		・必要に応じ、助言を受けることができます。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	5	5		・交流を希望する保護者様は少ない印象ですが、コロナが落ち着き次第実施したいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	6	4		・可能な限り参画しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10			・送迎時には、対面でお伝えしています。その他の方に関しては、連絡ノートを用い、情報共有を行っています。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	10			・保護者様が集まる機会を設け、その際に行っています。視覚的な支援や、言葉かけのポイントについて、またアンガーマネジメントについても取り入れ、説明させていただきました。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	10			
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	10			・個別のご相談にも対応しています。電話や連絡ノートを通してのご相談が多い印象です。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	改善目標、工夫している点など
保護者への説明責任等	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	10			・放課後利用の保護者様を対象に、2回交流会を設けています。次年度さらに広げていきたいと思っております。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	1		・苦情受付等担当者の周知をしています。また、受付けた苦情については、上司と共に再発防止策を検討し、検討内容の報告や職員間での共有を行っています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	10			・SNSでの発信にも力を入れています。また、イルカ らっこそれぞれで発行している広報では、写真を多く取り入れています。
	35	個人情報に十分注意しているか	10			・個人情報保護についての勉強会を実施し、個人情報取り扱い時のルールについて再確認しています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	10			・写真等を活用し、情報の伝達をしています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			10	・コロナが収束したとは言い難く、コンサート等の開催などができませんでした。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	10			・年間計画に沿って各訓練を実施しています。保護者様には、広報誌などを用い、訓練の様子を共有しています。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	10			・年間計画により、机上また実際の訓練を行っています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10			・年2回のアンケート後、委員会を中心とした研修会を行っています。その他、感情のコントロールについても学ぶ機会を設けています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	10			・身体拘束は行いません。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	10			・アレルギーの検査結果等コピーを頂いています。また食札にて厨房との連携を図っています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	7	3		・事例集は作成していませんが、過去のアクシデントやヒヤリハットについても振り返る研修会を実施しています。